

～温室の花栽培～



↑ 様々な色のシクラメンを栽培しています。

能代西高校の敷地内には、花を栽培するための温室があり、1年を通して生徒たちが花の栽培管理を行っています。ハウスにはシクラメンやプリムラなど様々な花が栽培され、校内の花壇を彩るほか、西高祭や産業フェアなどで販売されています。

その中でも、毎年見事な花を咲かせる西高のシクラメンは特に人気があります。その栽培は、シクラメンは陽ざしに弱いので、遮光をして環境を整えるほか、20℃以下の環境が適温で、扇風機2台を使って風を循環させるなど栽培管理を徹底しています。

また、現在は課題研究発表会に向け、草木染めに挑戦しています。その方法は、ペチュニアの花を取り、手でちぎり、それを熱湯で煮て布を染めるというものです。生徒らは様々な色のペチュニアを使って布を染め、作品作りに一生懸命取り組んでいます。



↑ アザレアの新芽取りを行う生徒



↑ 課題研究にも取り組んでいます。

～高校生の農業を学ぶ会～

管内の高校生を対象に、山本地域振興局農林部が主催となって行っている「平成29年度高校生の農業を学ぶ会」が10月27日に開催され、生物資源系列2年生の生徒が、能代市の(有)大和農園、八峰町の松岡食品、(有)峰浜培養を訪れました。

このうち、(有)大和農園では農業法人経営についてや雇用就農についてを代表の大塚和浩さんから学びました。能代西高から就職した生徒もおり、参加者は大塚代表の話を熱心に聞いていました。また、松岡食品では、豆腐加工施設の視察や地元産大豆の「リュウホウ」を使った豆腐作りに挑戦しました。試食などを通して、地元食材を使った加工販売品について理解を深めました。



～PTA交流会を開催～

能代西高校主催のPTA交流会が11月25日に開催され、能代市内の5高校と秋田市や男鹿市の高校のPTA会員など約50人がそば打ちの体験をしました。使用したそば粉は、7月に種をまき、10月に収穫したもので、石川そばの福士正信さんを講師に招きそば打ち体験が始まりました。

参加者は4～6人が1グループとなり、こねる作業や生地を伸ばす作業などを分担して行いました。作業の途中では、生徒がアドバイスを求める場面もあり、参加者は熱心にその話を聞いていました。参加者からは「初めてそば打ちをやったが、見ているのとやるのでは全然違っていった。こんなに力が必要だとは思わなかった」といった感想が聞かれました。